

分類	課 題
市民	1 地域の人材育成が必要
	2 高齢化による人材不足
	3 若者の参加が不足している
	4 参加できる人が限られている
	5 多忙で時間がない
	6 後継者がいない育たない
	7 若年層が少なく地域活動への参加も少ないため高齢者の負担が増加している
	8 地域の負担が大きい
	9 活動する市民の年齢層に偏りがある
	10 色々な活動に参加する市民が不足している
	11 道守り活動、公園愛護協会との連携で一部の橋、公園を清掃
	12 世代間または個々人に考えの温度差やレベルの違いがある
	13 地域の有力者が地域に対して無関心
	14 何事にもかかわりたくないといった意識がある
	15 まちづくりに無関心
	16 危機感がない
	17 顔が見える身近な関係作りが必要（市民の横のつながりが必要）
	18 市民相互が話し合う場がない
	19 まちづくり協議会の活動
	20 地域の連携が希薄化している
	21 メンバーの交代によって情報共有が困難になる
	22 世代間の情報の共有が足りない
	23 市民活動の情報が不足している
	24 意識や価値観に違いがある
	25 市民相互間の説明、会話が不足している
	26 合意形成がなされていない
	27 知らないことが多い。
	28 自治体が創りだされた歴史を知らない
	29 世代を超えて共有できる情報ツールが必要
	30 広報、ホームページが読まれていない
	31 活動資金が不足している
	32 市民から市長、市議に対し要望を行う
	33 行政に対して個人的な苦情を言う
	34 市民参加が必要
	35 市民の参加意識が低い
	36 参加しやすい活動を行う
	37 行政に対し過度な要求がある
	38 自主的・主体的な行動が不足している
	39 市民は利己主義
	40 協働するメリットが少ない
	41 自分のことは自分でという考え方がある
	42 自己本位の順位付けをする
	43 非協力的
	44 他者への依存性がある
	45 実際に行動することが難しい
	46 自分のことだけで精一杯という考え方がある
	47 補助があるから事業を行うといった意識を変える必要がある
	48 補助金頼みの姿勢がある
	49 何のために行動するか目的・意識を持った市民がいるか？

分類	課 題
行政	1 行政の窓口が一本化されていない
	2 行政への問合せ先、相談窓口がわからない
	3 協働に関する窓口が一本化されていない
	4 協働のためのコーディネート総合窓口を設置する必要がある
	5 協働の実効性を担保することができる行政機構の改革が必要
	6 横断的でない縦割りの行政組織に問題がある
	7 横断的ではなく縦割り
	8 行政施策が縦割り
	9 行政の運営方法に問題がある
	10 施策体系を再構築する必要がある
	11 担当者がすぐに変わってしまう
	12 継続性がない
	13 市民に対し協力的でない
	14 市民に対する配慮が不足している
	15 行政は業務として動いている
	16 義務的
	17 職員が業務全体を詳細に把握していない
	18 業務に関する知識・情報の共有化が図られていない
	19 公共・公益のくびきが明確でない
	20 行政がやるべきこととを市民にさせているのではないか（反発・負担減）
	21 協働イコールコミュニティという錯誤がある。コミュニティ再生だけで機能しない
	22 民間に頼りすぎている
	23 協働の意義・本質・ステップが理解されていない
	24 協働の手引きがない
	25 協働に対する支援が少ない
	26 行政には様々な制約が多い
	27 市民参加といいつつ行政主導の動きが強い
	28 学校も協働のパートナーとして位置づけを行う
	29 市民意識向上のためのアイデアづくりを行う
	30 市民活動団体の要件の緩和が必要。（テーマ型コミュニティの特性が理解されていない）
	31 市民活動団体登録の明文化及び定義づけが必要
	32 NPO団体及び活動の評価の必要性
	33 NPO法人の活動内容を広報に掲載してもらいたい
	34 地域住民へ課題・問題の周知を図るのに時間・労力が必要
	35 行政からの情報提供が不足または方法に問題がある
	36 情報発信に工夫が必要
	37 市民への啓発活動の工夫（情報発信不足）
	38 情報を全て公開（公表）できていない
	39 情報提供が不足している
	40 もっと前向きに市民意見を生かした取り組みがあってもいい
	41 行政は市民の現場の声を知らない
	42 テーマを決めて市民が話しあえる場の創出が必要
	43 地域からの情報収集が不足している
	44 個々の市民の状況を理解しようとしめない
	45 コミュニケーションが不足している
	46 市長、市議が市民の意見をくみ上げる
	47 審議会委員の再任の回数制限の緩和する必要がある
	48 上から目線でものを言う
	49 高齢者に対して対応が悪い
	50 予算が不足している
	51 公園の清掃等の町内公民館への補助金を増やす

分類	課 題
市民と行政	1 市民と行政相互に負担の押し付けあいがある
	2 市民と行政との間に距離感がある
	3 行政主導からのいきなりの方針転換（大牟田・マスキーガン友好協会）
	4 市民と行政との意識、目標設定に開きがある
	5 行政の役割、市民の役割をしっかりと把握すること
	6 市民と行政の役割が明確でない
	7 大牟田市の場合、民間主導では市側（担当者レベル）と対等に協働しながら進めて行くことは困難。行政に意識意識改革を！
	8 「協働」ということで市民の参加を要請するが、市の要請を受ける団体に「補助金？」が出ることで、その分配方法に「協働」がある意味強制される面があるのでは？
	9 行政は補助金だけで民間に任せきり。民間主導（堂面川清掃）
	10 「協働」に関し市民に任せることが多いような気がする
	11 行政は全体のバランスに市民検討会は地域限定にウェイトがある
	12 協働の成功事例の共有促進
	13 行政は地域の催しに先進事例等を紹介し寄り添って成功させる
	14 楽しく力を合わせて自己実現すること
	15 一緒に問題解決すること
	16 同じ目的を持ってやる
	17 時間と目的を共有すること
	18 市民、行政が協働することで相乗効果を得ること
	19 各々の長所を生かして補完することに成果を出す
	20 誰が主体性持つかということ（比率）
	21 自分のできる範囲で協働（参加）する
	22 非営利活動の間接的なメリットの視覚化
	23 協働について今の段階では何もわからない。協働、参画もなく知らない
	24 地域・行政の情報が若年層に伝わっていない
	25 情報の伝達・周知が不足している
	26 市民及び行政の意見交換の場が不足している
	27 市民と行政との意思疎通を円滑にして溝をなくす
	28 市民と行政との情報交換の場を創出し情報の共有化を図る
	29 対話の不足（相互理解の情報共有の場が必要）
	30 誰が何に困っているか情報が把握されていない
	31 市民と行政の相互理解、コミュニケーションが不足している
	32 市民と行政双方とも情報が不足している
	33 行政が市民にやってもらったことは市民の方が詳しい
	34 現状は行政主導の協働。行政は協働のメニューを提示し地域はそれを選択する方法
	35 高齢者が多いことを活かす発想の転換
	36 独居老人の多さを地域の活性化のチャンスとする意識を持つことが大切
	37 行政が何でもやりすぎもっと市民活力を活用すべき
	38 何を市民がすべきか線引きが難しい
	39 校区まちづくり協議会はその名称にある小学校で開催すべき
	40 公共施設の運営（動物園、学校給食）に指定管理者や業務委託を導入すること良いことである

分類	課 題
情報共有	1 参加したい行事があっても日程がわからない
	2 公共施設の利用に関する情報が一本化されていない
	3 行政内部で職員同士が情報共有していない
	4 市民で解決すべき問題に関する情報
	5 町内公民館への加入方法に関する情報
	6 (広報以外) 各世帯ごとに伝える手段がない
	7 役に立つ情報が少ない
	8 どんな情報があるかがわからない
	9 情報がないので知らないことがわからない
	10 欲しい情報がみつけにくい
	11 情報はあるが検索できない(市のウェブサイト)
	12 情報があっても受け手に見てもらえないこと
	13 *なくて困った情報
	14 行事欠席者への記念品配布情報
	15 イベント情報
	16 自然災害による交通情報(速やかに知る手段)
	17 道路通行止めの情報
	18 屋窓業務実施に関する情報
	19 (工事等) 交通情報
	20 公共施設の休館情報
	21 行政サービスの窓口情報
	22 行政サービスの重要性についての情報
	23 補助金情報
	24 ごみ出しルールの情報
	25 料金制度の変更情報
	26 市役所の窓口に関する情報
	27 税金や制度に関する情報
	28 行政内部の異動情報
	29 施設に関する情報
	30 軽自動車税アップの情報
	31 新大牟田駅市営駐車場の料金アップの情報
	32 隣近所の情報
	33 法律等専門性の高い情報
	34 困っていないが不便・不満
	35 献血募集の情報が周知されていない
	36 新幹線が開通に伴い在来線が減少することについての情報

分類	課 題
1	動機付け、関心がない
2	体力と気力の無駄
3	忙しいので参加しようと思わない
4	情報が拡散している
5	アンケートが実施されていること知らない
6	立法機関、市議会との二重性、市議会の存在がなくなる
7	キーワードだけ拾って真意が伝わらない
8	意見を聞くだけになってくる
9	参加してもなかなか意見が反映されない
10	ワークショップ等では限られた時間で答えを出す必要があるため、言葉足らずで意見が活かされないことがある
11	意見反映の実感が乏しい
12	自分出した意見が反映されるか疑問
13	良い意見であってもなかなか政策として反映されない
14	意見や声を聞かれても見解が述べられるだけで具体的な内容として反映されない
15	参加後の意見集約回答がない
16	ワークショップ、審議会等の結果が市政にどう反映されか知りたい
17	参加応募者少ない、同じ人が参加している
18	参加の窓口が狭い
19	参加している同じ人ばかり発言する
20	声をあげない人の意見が聞けない、反映されない
21	大事なことは審議会の後にアンケートしてはどうか
22	学習、情報不足の個人の意見で事実と違う
23	アンケート以外はなかなか参加しにくい
24	委員長にファシリテーションの力量が不足している
25	審議会の運営が行政主導
26	審議会の会議内容
27	資料が多くて難しい
28	アンケート内容が分かりにくい
29	アンケートの設問が多い、回答が限られている
30	企業（NPO）の参加が多かった

市民参加